

29年度検討の進め方について

平成29年5月18日

平成29年度 第1回消防力強化のための勉強会資料

H28年度の消防力強化のための勉強会(※)での到達点を踏まえ、29年度も引き続き検討を深掘する

(※)消防力強化のための勉強会
 (目的) 大阪の消防力強化に向けた課題や解決方策等について、府と府内市町村で意見交換、検討等を行うため、平成28年9月に設置
 (構成員) 大阪府危機管理室/政令市、各地域及び町村の消防本部/各地域の危機管理担当部局 (計14名)

	H28年度 到達点	平成29年度の進め方
消防広域化	<p>《パターン分けと粗い分析》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 府内27本部を1～10ブロックの5つの広域化パターンを設定。 * 通信指令機能の集約効果や広域化に伴う初期経費の粗い試算等の実施 	<p>《詳細分析の実施》 (検討パターン)</p> <ul style="list-style-type: none"> * パターンを以下の3パターンを基本に、より詳細な分析の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①10ブロック(現行広域化推進計画の細分化) ②8ブロック (" " のブロック) ③1ブロック (究極の広域化) <p>※ただし、調査の状況や勉強会での議論の内容によっては、上記の派生形(ex.泉州1ブロック化など)についても、今後、付加的に検討する可能性はある。</p> <p>(検討内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 広域化による効果等分析 (現行消防力の把握、広域化による消防力の最適配置) * 実現手法の検討(委託化、組合化、移譲など) * 広域化に伴う課題(ex地元連携等)の解決方策の検討
消防本部間の水平連携の強化	<p>《検討素案の提示》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 全本部対象のアンケート結果での課題等を踏まえ、「人材」、「資機材」、「救急」、「大規模災害対応」の4つの側面から、検討素案を提示 	<p>《実現に向けた方法等の検討》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 4分野にかかる各取組案について、実現性の可否、実現のための手法等について検討 <p>(検討内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 制度の目的・概要 * 現行制度上の実現性の可否、課題・問題点の整理 * 実現化方策・ロードマップ 等を取組毎に検討

平成29年度 検討スケジュール(案)

